

TPP大筋合意（林産物）の概要について

平成27年10月

林野庁

TPP大筋合意の概要（林産物）

TPPが「全ての品目の関税撤廃」を原則とする中で、衆・参農林水産委員会の国会決議を踏まえ、交渉を行った。

① 合板・製材

輸入額が多い国（カナダ、マレーシア）や、輸入額の伸びが著しい国に対して、16年目までの長期の関税撤廃期間と、輸入量が急増した場合に関税をTPP協定の発効前の水準に戻すセーフガードを確保。（非農産品である林産物へのセーフガードの設定は初めて。）

例：マレーシアの合板とカナダの製材の場合

- ・ 現行税率 4.8～10.0%。
- ・ 初年度に関税を 50%削減、その後は税率を維持、16年目に撤廃。
- ・ セーフガードは 16年目以降も維持。

② 合板・製材の代替・競合品（OSB）

①と同様、輸入額が多い国（カナダ）に対し、16年目までの長期の関税撤廃期間とセーフガードを確保。

③ 環境分野

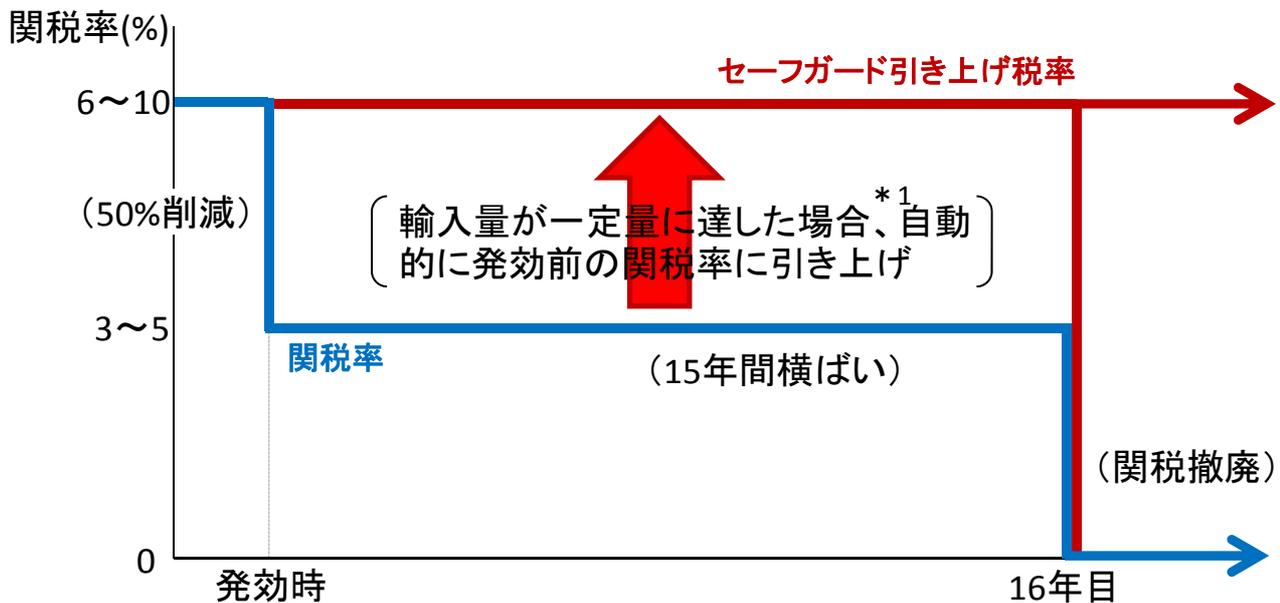
違法伐採木材に関し、各国における行政措置の強化や各国間の協力に関する規律を規定。

林産物

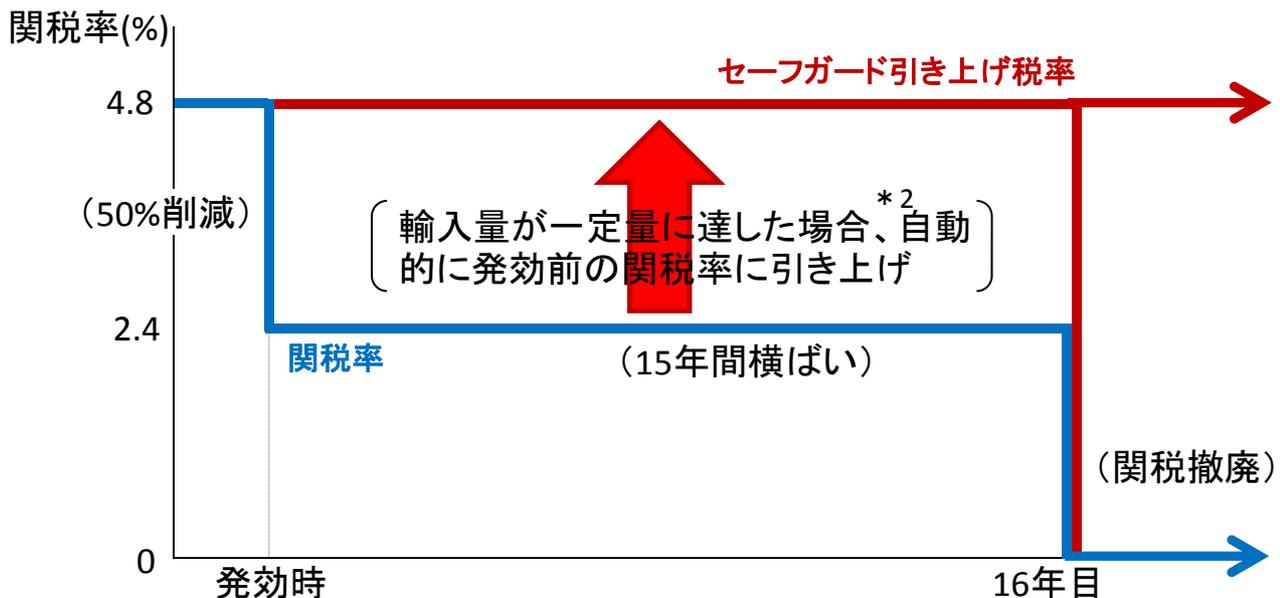
- 合板及び製材は、輸入額の多い国又は輸入額の伸びが著しい国に対し、16年目までの長期の関税撤廃期間とセーフガードを国別に設定。
- 非農産品である林産物にセーフガードを設定するのは、世界でも前例のない措置。
- 合板、製材の代替・競合品であるOSB^{*}(オリエンテッドストランドボード)もセーフガード付きで16年目までの段階的撤廃。

※ 薄く切削した長方形の木片を並べた層を、互いに繊維方向が直交するように重ねて高温圧縮した板製品

1. 合板(例:マレーシア)



2. 製材(SPF)(例:カナダ)



〔(注)上記1、2ともマレーシア及びカナダの主要品目については、関税撤廃後もセーフガードを維持可!〕

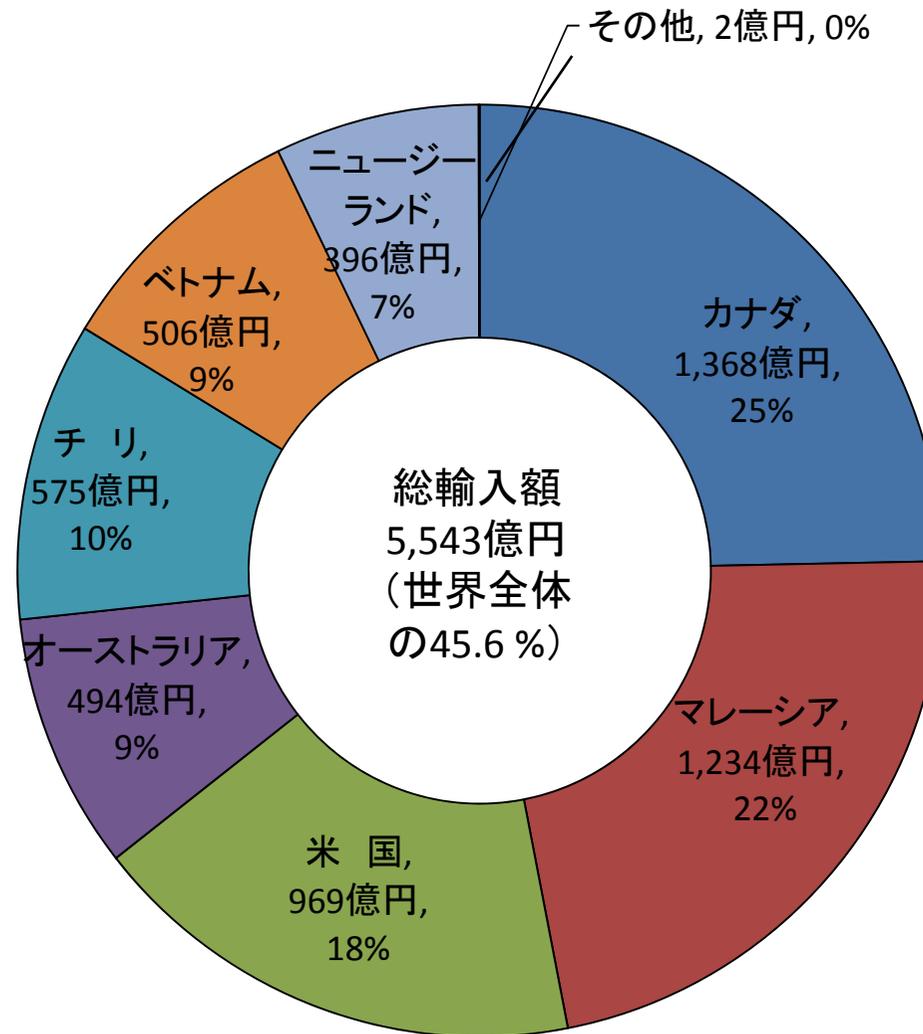
* 1: マレーシアの熱帯産木材の合板の場合、発効時1,044千m³、毎年20.9千m³増、16年目以降毎年31.3千m³増。

* 2: カナダのSPF製材の場合、発効時1,573千m³、毎年31.5千m³増、16年目以降毎年31.5千m³増。

国会決議(平成25年4月18日・参議院、19日・衆議院)(抜粋)

- 1 米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物などの農林水産物の重要品目について、引き続き再生産可能となるよう除外又は再協議の対象とすること。十年を超える期間をかけた段階的な関税撤廃も含め認めないこと。
- 2 残留農薬・食品添加物の基準、遺伝子組換え食品の表示義務、遺伝子組換え種子の規制、輸入原材料の原産地表示、BSEに係る牛肉の輸入措置等において、食の安全・安心及び食料の安定生産を損なわないこと。
- 3 国内の温暖化対策や木材自給率向上のための森林整備に不可欠な合板、製材の関税に最大限配慮すること。
- 4 漁業補助金等における国の政策決定権を維持すること。仮に漁業補助金につき規律が設けられるとしても、過剰漁獲を招くものに限定し、漁港整備や所得支援など、持続的漁業の発展や多面的機能の発揮、更には震災復興に必要なものが確保されるようにすること。
- 5 濫訴防止策等を含まない、国の主権を損なうようなISD条項には合意しないこと。
- 6 交渉に当たっては、二国間交渉等にも留意しつつ、自然的・地理的条件に制約される農林水産分野の重要五品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は、脱退も辞さないものとする事。
- 7 交渉により収集した情報については、国会に速やかに報告するとともに、国民への十分な情報提供を行い、幅広い国民的議論を行うよう措置すること。
- 8 交渉を進める中においても、国内農林水産業の構造改革の努力を加速するとともに、交渉の帰趨いかんでは、国内農林水産業、関連産業及び地域経済に及ぼす影響が甚大であることを十分に踏まえて、政府を挙げて対応すること。

TPP参加国からの林産物の輸入額(国別)(2013年)



資料:財務省貿易統計

TPP交渉の参加国・経緯

- 2006年 **シンガポール**、**NZ**、**チリ**、**ブルネイ**から成る「P4協定」が発効
- 2008年 9月 **米国**が参加国を拡大して交渉を開始する意向を表明
- 2010年 3月 米、**豪**、**ペルー**、**越**を加え**8カ国で交渉開始**。
-
- 同 10月 **マレーシア**が交渉参加。**計9カ国に**
- 2011年11月 日本、カナダ、メキシコが交渉参加に向けた協議開始の意向表明
- 2012年10月 **メキシコ**、**カナダ**が交渉参加。**計11カ国に**
- 2013年 7月 **日本**が交渉参加。**計12カ国に**

交渉日程

- 2010年 3月 第1回会合(於:豪州)
(P4 4カ国に加え、8カ国で交渉開始)
- 6月 第2回会合(於:米国)
- 10月 第3回会合(於:ブルネイ)
(マレーシアが新規参加)
- 12月 第4回会合(於:NZ)
- 2011年 2月 第5回会合(於:チリ)
↳
- 2012年 12月 第15回会合(於:NZ)
(カナダ、メキシコが新規参加)
- 2013年 3月 第16回会合(於:シンガポール)
- 5月 第17回会合(於:ペルー)
- 7月 第18回会合(於:マレーシア)
(日本が新規参加)
- 8月 第19回会合(於:ブルネイ)
- 10月 TPP首脳・閣僚会合(於:インドネシア)
- 12月 TPP閣僚会合(於:シンガポール)
- 2014年 2月 TPP閣僚会合(於:シンガポール)
- 5月 TPP閣僚会合(於:シンガポール)
- 10月 TPP閣僚会合(於:シドニー)
- 11月 TPP首脳・閣僚会合(於:北京)
- 2015年 7月 TPP首脳・閣僚会合(於:ハワイ) 0

